



ハトダヨ
2025年
8月号

函館市中央図書館
だより

編集・発行

函館市中央図書館 指定管理者

図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体

TEL:0138-35-5500 URL <https://hakodate-lib.jp/>

函館市中央図書館だより

第111号 令和7年8月1日 発行

図書館からのお知らせ

「調べる学習コンクール」の募集が始まりました。
出来上がった作品は、夏休みの自由研究として学校に提出することもできるので、ぜひチャレンジしてみてください！
また、今月は郷土の歴史講座が2回開催されます。
どちらも興味深いテーマとなっておりますので、ご参加をお待ちしてます。



募集します！

第9回 函館市 図書館を使った

「調べる学習コンクール」

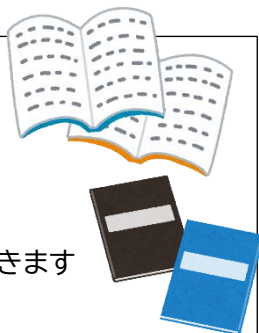
募集期間:8月1日(金)～9月12日(金)

応募資格:小・中学生ならだれでも応募できます

応募作品:テーマは自由

一人で調べても、友達と調べてもOKです

身近な疑問や不思議に思うこと、興味があることなどを
本で調べて、調べたことをまとめて作品にしてみよう！



「調べる学習コンクール参考作品展示」

場所:児童コーナー

今までの全国コンクール入賞作品などを展示
しています。作品作りの参考にしてください。

「調べる学習コンクール相談窓口」

場所:児童カウンター

テーマ決めや本選びに迷ったら、気軽に声
をかけてください！ 体験コーナーも開催
しています(小学生向け)



詳しくは館内のポスター・チラシ等をご覧ください

開架展示のご案内

「戦後80年」

7月26日(土)～8月28日(木)

今年は、第二次世界大戦の終結から80年という節目にあたります。
当時を知る人も少なくなってきた今、あらためて読書によって歴史を
振り返ってみませんか。



イベントのお知らせ

第3回 郷土の歴史講座

「二十世紀前半の「函館」で

ロシアパンを売っていた旧教徒たち」

日時:8月9日(土) 14:00~15:30

(開場 13:30)

場所:中央図書館 視聴覚ホール

講師:倉田 有佳 氏

(ロシア極東連邦総合大学函館校 教授)

定員:150名(申込不要・先着順)

第4回 郷土の歴史講座

「レイモンさんと函館」

～カール・レイモン創業100年を迎えて～

日時:8月23日(土) 13:30~15:30

(開場 13:00)

場所:中央図書館 視聴覚ホール

講師:植松 三十里 氏 (歴史小説家)

定員:150名(申込不要・先着順)

<共催:一般社団法人函館文化会>



詳しくは館内のポスター・チラシ等をご覧ください

地区図書室からのお知らせ

「ヨムチャンといっしょに調べてみよう」

日時:7月26日(土)~8月24日(日)

場所:千歳・港・湯川・旭岡図書室

対象:小学生以下(申込不要)

内容:ヨムチャンと一緒にいろいろなことを調べてみよう!どんな本を使えば調べられるか、

図書館スタッフがアドバイスします。



令和7年度 つ・な・が・る おはなし会

「千歳図書室に

函館市電の運転士さんがやってくる!」

日時:8月24日(日) 13:00~13:30

場所:千歳図書室 おはなし室

対象:小学生以下(申込不要)

協力:函館市企業局交通部電車事業課

内容:函館市電の運転士さんが来てくれる楽しいイベントです!

詳しくは各地区図書室へお問い合わせください

スタッフのおすすめ本

「世界のお弁当とソトごはん」

著者:岡根谷 実里

出版社:三オブックス (2025年4月)

場所:A13~15他 請求記号:383.8オカ

「世界の台所探検家」として世界各国の台所を巡った著者の実体験による、各国の携帯食や屋台など家の外で食べる食事について書かれた本です。食べ物も凍ってしまう北国、乾燥した砂漠の国、見渡す限り草原の広がる国など、その土地その土地の特徴で食事風景も変わっていく様子が描かれています。

おいしそうな写真と楽しい文章だけでなく、各国の食事のご当地事情も楽しめる1冊です。

「59-60」

著者:奥田 民生

出版社:ダイヤモンド社(2024年10月)

場所:港図書室 請求記号:767.8オク

この暑さでやる気が出ず、自分を励ます本すら読む気がしない時はありませんか。還暦を迎えた奥田民生のエッセイは気軽に読めるおすすめ本です。作詞作曲をするミュージシャンなので言葉の使い方が上手く、ゆるくも的確な文章に「まあそうだよ」とふっと笑えます。私が好きな彼の言葉は「生きる理由なんて次の日に用事があるからでいいと思う」です。ラジオを流していたら面白い話をしていた人がいた。知らない人だったけれどなんだか心が軽くなった。そんな気持ちで読んでいただけたらと思います。



ぜひ、読んで
みて下さい!

図書館俳句ポスト受賞者

4月俳句ポストへ応募された中から選ばれた作品です。
おめでとうございます。お題は「桜貝(さくらがい)」。

佳作

春暁や鴉あかるき濡羽色

安福巖

入選

木の芽風でこぼこ道を減速す

中西芳之

柴犬は尾を立ててゆく桜道

銀子

生きた年重ね今年の花吹雪

練合陽子

貸出 ランキング

児童編

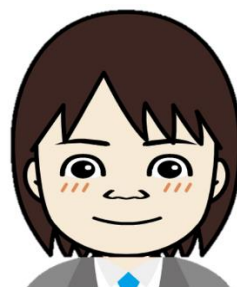
今回は
児童編だよ！



貸出数の多かった本をご紹介します。
(令和7年7月15日現在)

- 1 『大ピンチずかん 2』
鈴木 のりたけ／著
- 2 『パンどろぼうとほっかほっカー』
柴田 ケイコ／著
- 3 『パンどろぼう おにぎりぼうやのたびだち』
柴田 ケイコ／著
- 4 『パンどろぼうとなぞのフランスパン』
柴田 ケイコ／著
- 5 『大ピンチずかん』
鈴木 のりたけ／著

館長随想 (四十一)



図書館の児童コーナーで少し古い本を見つけると手に取りパラパラ見てしまいます。ひなたの匂いがする、というのでしょうか、よれたページを触ると子どもの頃の思い出がよみがえります。小学生のある日、青柳町の函館公園の中にある図書館に行き、私が借りた本は手芸の本でした。当時、フェルト人形など手芸は人気があり、図書館の本はすっかりくたびれていました。母はそれを見てとても驚き、図書館禁止令を私に出したのです。当時、高かったと思われる吸入器を自宅で毎日使っていた私の体調を気にしたのでしよう。

最近は保管状況もよく古い本でも本のクリーナーの機械もありますしありがたいと思います。読書離れもありますし、少しでも本を手にとってほしいと図書館員が選りすぐりの蔵書を揃え多くの皆様に利用いただいています。

昨年からはブックスタート事業を始め、4か月健診を終えた子ども(函館市在住)に中央図書館で絵本を配布しています。こちらの絵本はピカピカの新しい本。子どもが大好きな絵本4冊から1冊選んでもらうことができ、バッグとともにプレゼントしています。バッグは適度な薄さで折り畳みが可能で、かばんにしのばせ、図書館の本を借りるときにぴったりです。ご家族が新しい本をお子さんに読むことを図書館は応援しています。ちょっと忘れていた、忙しくて行けなかった、などご事情のある方はカウンターにお尋ねください。最大限の配慮をいたします。

「新しい」本のプレゼントをお子さんと一緒に喜び、家族皆で図書館を好きになってほしいと思います。(館長 落合仁子)

夏やすみ オススメモ本

すいか!

石津 ちひろ／文 村上 康成／絵 小峰書店 (2013 年 5 月)

E ムラ 児童7~10

あつ〜い夏!おじいちゃんの畑でとれたのは、あま〜いすいか!
みんなでたべるとおいしいね。すいかがたべたくなる絵本です。



キャンプのずかん

スズキ サトル／絵・監修 Gakken (2024 年 4 月)

E スス 児童3~6

キャンプの道具やマナーなど、キャンプのことならこの絵本におまかせ!
読めばおとなもこどももキャンプマスターになれるかも?

大接近!工場見学 2

高山 リョウ／構成・文 岩崎書店 (2017 年 2 月)

509 タカ 児童20~22

冷たくておいしい、みんながだいすきな「ガリガリ君」がどうやって
つくられているのか、写真いっぱいの本で見学してみよう!



私立探検家学園

斉藤 倫／著 桑原 太矩／画 福音館書店 (2022 年 10 月)

913 サイ 児童23~25

小学校5年生の主人公が入学したのは探検家を目指すための学園だった!?
風変わった授業と実習(ミッション)にドキドキワクワクすること間違いなし!

このほかにも 図書館には たくさん本が あります。

ぜひ 図書館で おきにいりの本と であってください。

